

第3章 訓練終了後のアンケート結果

原子力防災訓練を踏まえたアンケートの結果について

1. はじめに

平成30年度の原子力防災訓練を踏まえ、次年度以降、より実践的、効果的な防災訓練となるよう、また、運営の改善に資するため、訓練参加者（自治体、関係機関、参加住民）に対し、アンケートを実施し、その結果をとりまとめたものである。

2. 主な意見（寄せられた意見の詳細は別紙参照）

<訓練運営・想定>

訓練実施日に関して、住民参加及び活動要員（職員）の確保のために休祭日に実施すべきとの意見があり、一方、平日であれば職員も参加しやすいため今後も平日に実施して欲しいとの意見もあった。また、実施時期について、10月末の訓練は寒いとの意見や、冬期の訓練の実施について意見があった。

訓練の企画・立案について、全体会議まで共催機関にも情報提供がなく、例年以上にギリギリの調整や情報提供となった。今後は、全体会議・分科会のほかに必要に応じて市町村・実動機関を交えた打合せを実施して欲しいとの意見があった。

<住民防護措置訓練>

住民の参加者を増やすべきとの意見があった。学校と連携し、児童とその保護者、学校の動きを確認できるような訓練を実施すべきとの意見があった。また、訓練企画側の課題としては、事前の説明会の実施や、職員のとるべき行動に関する研修等の実施を要望する声があった。要配慮者の搬送に当たり、実際に介助方法等を理解していないと搬送する上で大きな事故に繋がる可能性や避難所までの搬送時間などに影響を及ぼす可能性が高いと感じたので専門的な方からの講習が必要という意見や、空路避難のリアリティを迫る観点から、着陸場所をOFCヘリポート等、別の場所に設定することも一案との提案があった。

<受入市町村による避難所開設・受入訓練>

避難者に対する物資の配給や避難所の清掃などの運営訓練など、避難所の機能を検証する訓練も必要との意見があった。避難先市町村の現状と避難元市町村の対応のすり合わせを行う必要があるとの意見や、避難先市町村と実際に連携をとりながらの住民避難訓練の実施が必要との意見があった。また、受入市町村においても、原子力防災の知識の勉強が必要との意見があった。

<避難退域時検査・簡易除染訓練>

全体訓練を実施する前に、各役割の個別訓練を実施することが大事との意見や、責任区分の明確化（連携の強化）のため、図上予行を実施した方が、より実践的であり、かつ問題点が明確になるためより良い共同訓練ができるとの意見があった。また、車両簡易除染実施後の汚染水の取扱いや携行品の汚染検査の実施をしてはどうかとの意見があった。

企画・統制側の問題としては、訓練資料の配布やコントローラーの役割等の周知不足等の改善を求める意見が見られた。

<傷病者搬送・受入訓練>

今回と同様の訓練を繰り返し実施することがよい。主目的のひとつである、管理区域の解除の訓練については、少し時間が足りなかったとの意見があった。管理区域への救助隊の入域について、防護服装着など特段の問題もなく実施することが出来たとの意見があった。

<オフサイトセンター運営訓練>

オフサイトセンターでの訓練をあまりやっていないため、体制等の理解等を目的としたことを考えると時間等は適当であった、次回以降、時間も長くして、段階的にもう少し踏み込んだ内容の訓練をした方がよいとの意見があった。また、オフサイトセンターの要員については、ある程度の知識が必要と感じた。年度当初に災害に備え、研修会等を行い知識を入れておく必要があるとの意見があった。

<その他>

住民に対する防災知識の普及について、また、市町村職員、防災業務関係者の知識、技術の習得の必要性に係る意見が見られたほか、訓練内容・訓練実施体制の改善を求める意見が見られた。また、資機材の充実や、マニュアル等の作成・修正に関する意見が出され、今後検討する必要があると感じた。

課題	記載内容
訓練運営・想定	天候を考慮し、訓練時期は9月や10月など時期が望ましい。
訓練運営・想定	土日の訓練は避けてほしい
訓練運営・想定	開催時期を1～2か月程度早めてほしい
訓練運営・想定	土日の訓練ではなく、休日どちらか一日として欲しい。地域住民を巻き込んだ安定ヨウ素剤緊急配布訓練は良かったと思う。訓練に参加していない地域住民へも情報提供を行っていきべきだと感じました。
訓練運営・想定	平日にやってほしい
訓練運営・想定	・町独自に別の季節（冬期間等）に訓練も必要 秋には実施可能な行動が、訓練と同様に行かない場合もあると思う。集会場を利用するのであれば、除雪していなければ一時的集合場所をどこにするのか、海水浴場駐車場確保（除雪しないため）等
訓練運営・想定	訓練の企画・立案について、全体会議まで共催機関にも情報提供がなく、例年以上にギリギリの調整や情報提供となっている。今後は、全体会議・分科会のほかに必要に応じて市町村、実働機関を交えた打合せを実施して欲しい。
訓練運営・想定	オフサイトセンターから自治体災害対策本部が連携した訓練の実施が必要
訓練運営・想定	自治体職員数は限られており、円滑かつ迅速な現場担当には限界があるため、一時集合場所における青森県及び原子力事業を含めた関係機関の応援（職員派遣等）の検討と、複数機関の職員が連携し活動する訓練の実施をお願いしたい。
訓練運営・想定	県災害対策本部の運営訓練も必要と思う。
訓練運営・想定	訓練計画の初期段階から、関係機関（市町村含む）が訓練想定や訓練のテーマ、目的等を共有した後、具体的な事項について決めていったほうが良いと感じました。
訓練運営・想定	職員の訓練としては良い訓練になったと思うが、地域住民の方々が積極的に参加したくなるような訓練計画をお願いします。
訓練運営・想定	なかなか動員するのが難しいとはいえ、有事の際を考えるともっと自治体側も住民も参加をしてもらう体制が必要と思います。
訓練運営・想定	学校での対応について質問される住民の方がいらっしまったので、学校と連携し、児童とその保護者、学校の動きを確認できるような訓練ができればよいと思いました。
訓練運営・想定	資料を見る限り二日間に渡って様々な訓練を実施していることはわかるが、場所も様々なため他の訓練の様子を見学できないのは残念な感じがした。他の市町村の実施方法はわからないが、先日行われたむつ市総合防災訓練では、一つの場所で数種類の訓練を行った。実際私も訓練に参加したが担当ではない訓練を見学でき、より防災への意識を高めることができたと感じる。すべての訓練を一カ所というのは難しいと思うが、数種類の訓練を一カ所で実施することは、参加者だけでなく見学者の防災に対する意識の向上を望めると考える。

課題	記載内容
訓練運営・想定	冬期を想定した訓練も想定した方がよい。
訓練運営・想定	多くの住民に参加してもらえる訓練内容の立案が求められる。
住民防護措置訓練	地震・津波等からの原子力災害が発生した場合の避難経路について実際使用出来るのかとの指摘があった。
オフサイトセンター運営訓練	訓練において、海保の体制報告は、第一回現地事故対策連絡会議での発音のみであった。参集してから連絡会議まで、時間に余裕があったことから、海保からの状況付与、又は情報収集班から海保への確認事項など訓練に盛り込んで頂きたい。
オフサイトセンター運営訓練	事前の確認ではOFCより発電所緊対室にTV会議システムの接続が出来たが、本番ではOFCより接続出来なかった。OFC運営マニュアルの接続手順について社内に再確認を依頼した。
オフサイトセンター運営訓練	現地対策本部との連絡（テレビ会議等）の実施、時期的にはもう少し早いほうが良い
オフサイトセンター運営訓練	今回の訓練では、原子力災害に関する知識不足により、主体的に行動出来なかったが、実際に災害が起こった際には、主体的に行動出来るところまで求められるのか、または、班長や副班長から指示を受けて行動する事で足りるのか。主体的な行動が求められるのであれば、継続した訓練、研修が必要と考える。
オフサイトセンター運営訓練	オフサイトセンターでの訓練をあまりやっておらず、体制等の理解等を目的としていたことを考えると時間等は適当であったと思う。
オフサイトセンター運営訓練	今回はオフサイトセンターでの役割の確認等簡単な内容であったため、次回以降、時間も長くして、段階的で良いと思うので、もう少し踏み込んだ内容の訓練をしたほうが良いと思う。
オフサイトセンター運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集班では、その担当が班長に情報を提供して完結していただけた。交通規制の発生やヨウ素剤の配布・要避難者の避難先を1:50,000の地図に書いて、その打合せを班内で共有する時間を持った方が良い。 ・オフサイトセンター内のテーブルに配置された関係機関先を説明してほしかった。また、ERC、EMCが何なのか詳しく役割を教えてほしかった。 ・市町村（交通情報、要避難者情報）や自衛隊（輸送機の手配など）など、何度も確認する関係先には、訓練の最初から聞き取り先の一覧表があった方が良い。副班長から指示の時に言われてメモするよりは断然早い。もし、情報が直接的には不要な部署にも流れれば、何をしてほしいのかを把握するやり取りが生じる。そんな時間は実際には無駄である。 ・早期に書類内容を把握するため、送信票よりも次ページの書類に、時間や送受信者を記載する欄があった方が良い。 ・私はオフサイトセンターに参集することを知らなかった。もっと周知が必要だと思う。 ・東海村での事故など、被ばくすると人体にどんな影響が出てしまうのか、映像をみんなで見るのも良いかもしれない。

課題	記載内容
オフサイトセンター運営訓練	何回も開催して、応用ができるようになるまで経験していくことが必要。
オフサイトセンター運営訓練	組織が理解できていなく、どことどのように関係しているのか把握できなかった。組織についての知識のなさが原因と考える。簡単でもいいので体系図があればうれしい。市町村からの情報収集については、予め情報の項目を定めておき、それらについては定時で報告をしてもらう方法を検討してはどうか。これだと情報を出す方も、受ける方も楽になると思う。
オフサイトセンター運営訓練	関係者の範囲によるが、実際に見えない部分を見せることで理解を得られるきっかけとなると思う。例えば住民防護訓練に参加した住民には行政側の動きが全く見えないので実際に見せることで安心してもらう部分があるように思う。
オフサイトセンター運営訓練	オフサイトセンターの要員については、ある程度の知識が必要と感じた。年度当初に災害に備え研修会等を行いある程度の知識を入れておく必要があると考える。
オフサイトセンター運営訓練	今回、統括担当の情報Gを担当したが情報管理のノウハウを確立した方がいいと思う。出席する職員が知識や経験がある職員とは限らないことから各担当の業務内容が予め想定されているのであれば簡易でいいので「マニュアル」を作成しておいた方がいいと思った。
緊急時通信連絡訓練	オフサイトセンターとの情報伝達訓練に初めて参加し、青森県緊急時連絡網装置を使用した、伝達文書の送受信及び電話での報告など、より実践的な訓練をしたことで、今後に繋がる経験が出来た。訓練のシナリオの中に、一部、アドリブを加えて試すのも良いのではないかと感じている。
住民防護措置訓練	事前に説明を受けていた流れと、当時の流れが違っていたり、現場の各担当の指示が異なっていたので、各担当の情報共有をもう少し行った方が良い
住民防護措置訓練	参観者について受付が必要かどうか、参観者が来るかどうか事前に情報が入っていなかったため、受付時に混乱した。また、村内各地区（尾駱地区）からの避難者を想定していたが、村外からの避難者（電力関係者等）も避難所に来たため、迅速な対応が出来なかった。避難してきた方も、どういう立場で避難していたの理解していなかった。県の担当者からその場で確認し、あくまでも尾駱地区としての避難者という設定という事だったため、事前に避難者にも自分の立ち位置を理解してもらった方が良かった。
住民防護措置訓練	だれがどこで何をしているのか待ったくわからない状況だったので、事前に全体の設定について説明が必要だと思う。当日避難場所に行ってから同じ場所に他の担当課があり、事前の話がなかったため、事前に情報が欲しかった。役場職員も参加した方が、災害発生時のイメージがつくと思うので訓練に参加しなくても、担当課ではなくても参観は必要だと思う。

課題	記載内容
住民防護措置訓練	住民避難訓練 避難先が「尾駈小学校」と広報されているが、一部の住民には、集合場所の尾駈小学校正面玄関へ参集した。訓練では駐車場誘導員が体育館への参集を指示していたが、実際の現場での誘導員配置の有無や避難先の詳細な広報、誘導看板等の設置など、より細かな誘導方法について、検討する必要がある。
住民防護措置訓練	南小学校で避難者の受付業務を担当したが、尾駈地区の各自治体より前に企業関係の避難者がやってきた。企業関係の避難者もいることを事前に聞いていなかったため、対応に時間がかかった。事前の打ち合わせの際に、こういった細かい部分の確認も必要だったと感じた。
住民防護措置訓練	実施サイドの反省として、地区住民が一時集合場所に避難する際、口元をハンカチでふさぐことやマスクの着用、着衣はジャンパー、荷物はビニール袋に入れるなどの広報を、今後行いたい。
住民防護措置訓練	UPZ該当地区住民を対象とした訓練に参加、住民だけでなく、圏域外から就業のために区域内に来ている人も訓練の対象として周知及び訓練への参加を呼びかける必要があるのではないかと。訓練終了後、福祉車両で住民を自宅に送迎した際、周辺地区の状況（牛舎・何百頭もの乳牛）を見て改めて万が一の時のことを考えさせられた。とても良い経験が出来たと思う。
住民防護措置訓練	他自治会も視察・参加した方が必要（UPZ圏内を走行時に被害に遭う可能性もあるのでは）
住民防護措置訓練	有事の際は、村職員だけではなく各地域においての情報伝達体制を整えておく必要がある。
住民防護措置訓練	実際には、自家用車で逃げる人が多いと思います。訓練参加者は独居の人々は車のない方を優先に実施した方がよいのかも
住民防護措置訓練	夜間訓練も必要です。
住民防護措置訓練	避難指示対応などバス等での搬送訓練
住民防護措置訓練	毎年行ってほしい訓練です。
住民防護措置訓練	祭などの大勢が一箇所に集まっている場合の避難をさける訓練も必要です。
住民防護措置訓練	安定ヨウ素剤など実際に災害発生したと想定し、配布の要領などの訓練も必要です。
住民防護措置訓練	あまり起こらない災害なのでとても良いと思いました。

課題	記載内容
住民防護措置訓練	冬期間の訓練も実施した方が良いと思う。特に参加住民からは、寒い等の苦情が出るかも知れないが、災害は季節時間を問わずやってくるものであり、悪条件下での訓練も経験しておくべきと考える。
住民防護措置訓練（空路避難）	訓練に対する要望として、今回は住民避難のための離陸場所と着陸場所を同地域で実施したが、リアリティを追求する観点から、着陸場所をオフサイトセンターヘリポート等、別の場所に設定することも一案であると感じました。
住民防護措置訓練（海路避難）	今回の海路避難訓練では、自衛隊艦船の規模が小さく、避難住民の乗船場所は甲板上では、避難住民が、季節柄、冷風に曝されるとともに、今回は降雨もあった。海路避難訓練の実施にあたっては、避難住民が艦船内に待機出来る規模の艦船を希望する
住民防護措置訓練（海路避難）	太平岸壁の入口がわからなかったので、看板等の設置が必要だと思いました。
避難行動要支援者搬送訓練	福祉車両に実際の町民をのせて避難訓練をする。
避難行動要支援者搬送訓練	災害等による行政側の動きや役割について、参加する前に比べ理解することが出来ました。今回は要援護者（車いす使用者）を搬送する役割で参加しましたが、実際に介助方法等を理解していないと、搬送する上でも大きな事故に繋がる可能性や避難所までの搬送時間などに影響を及ぼす可能性が高いと感じたので専門的な方の実演なども取り入れてみてはどうかと思います。
一時集合場所運営訓練	小学校体育館に避難した住民を受け入れする際、住民らは居住地区ごとに受付し、おおむね居住地区ごとに分かれて座っていたが、受付後の住民らは一見して雑然と座っており、後から参集した住民がどこに座ればいいのか判然とせず、受付係員も住民の地区分けを把握していなかった。
一時集合場所運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難連絡票の記入箇所が多い。 ・車のナンバーと車種や親族の緊急連絡先が分からないという住民が多数おり、避難連絡票の記入が進まない。
一時集合場所運営訓練	今回は、野辺地で検査を行い、青森リンクステーションホールへ避難する流れだったが、住民の中にはリンクステーションホールが分からない方もいたので、地図（駐車場把握のためにも使えるもの）を渡すことと、リンクステーションホールが青森市の文化会館である旨も含めて2つの呼称を伝える必要性を感じた。
一時集合場所運営訓練	安定ヨウ素剤の服用効果が大きく影響する若者の参加が少ないと感じた。せっかく奥内小学校を利用するのであれば、保護者の参観や小学生の訓練参加なども検討して欲しい。
一時集合場所運営訓練	自分の役割は避難所の受付であったが、今回の受付人数は少なかったにも関わらず、説明と記入にどうしても時間がかかってしまったことから、有事の際は正直混乱してしまうのではないかと感じます。受付する側も避難の流れを理解した上で、説明を行い受付する必要があることから、現状のままだと不安を感じました。

課題	記載内容
一時集合場所運営訓練	避難してきた車を誘導する係をもっと減らしてもよいと考える。
一時集合場所運営訓練	一時集合場所で記入する避難者カードの内容が多く、分かりにくい。奥内小学校の放射線防護設備の出入りに使う扉の仕様が分かりにくい。安定ヨウ素剤の事前配布をUPZでも行って欲しい。
一時集合場所運営訓練	避難者カードについて、記載項目が多く、何を書けばいいのかわからない項目もあった。受付に当たる職員が戸惑わないよう、わかりやすい様式にしてほしい。それにより、迅速な受付が可能になると思われる。
安定ヨウ素剤緊急配布訓練	住民の意見質問等は別紙。模擬のヨウ素剤については、もう少し実物に近い形状のものを準備してもらいたい。住民の質問では町レベルではなく、県や国レベルの対応についての質問も見られたため、その部分についての説明は対応していただけだと良かったと思う。他市町村では、配布訓練を県職員が実施しているとの新聞報道があった。説明の標準化を考えると県職員の配置が難しいのであれば、ある程度の説明基準があればよかったのではないかと思う。
社会福祉施設等防護措置訓練	社会福祉施設防護措置訓練 夕方から明け方など、議員数が少なくなる時間帯での防護措置訓練も必要
情報伝達（広報）訓練	施設への情報伝達訓練において、流れはイメージ出来るが防災意識の醸成には、つながりにくいように感じた。施設においても避難準備までの訓練がなされているのであれば醸成になると思います
情報伝達（広報）訓練	情報伝達訓練において、地域住民への伝達を町内単位で行ってみたい（自主防災組織のある町内において実際に搬送なども車を使って）
情報伝達（広報）訓練	情報伝達訓練に参加したが、伝達内容が分かりづらかった※高齢者施設への「学校での保護者引き渡し」の連絡
情報伝達（広報）訓練	一斉サイレン訓練が出来れば良かった
情報伝達（広報）訓練	村内広報は聞こえたが、「巡回広報聞こえなかったよ。」と厳しい意見も聞こえた。もう少し、車の台数を増やし広報をする。もっと村内広報を活用。ラジオ等も活用したい。
情報伝達（広報）訓練	住民広報では、一台で広報活動しましたが、実際の災害時ではもっと多くの車両で幅広く広報をして、より早く広報を広められたらと思いました。
情報伝達（広報）訓練	防災無線で流れる情報が多すぎて、内容が聞き取りづらい。

課題	記載内容
情報伝達（広報）訓練	避難についてのアナウンスが長くわかりにくい、という意見が印象に残りました。
情報伝達（広報）訓練	原子力災害に関する町内への放送について、長文だと聞きづらいため、もっと簡潔にしてほしいと住民の方から要望があった。
避難退域時検査・簡易除染訓練	野外での検査に対して、強風や大雨等への対策が必要と感じた。強風には重石が必要と思う。
避難退域時検査・簡易除染訓練	実務担当の人だけではなく運営側、住民の方々も除染作業、測定作業のやり方を覚える機会があると、更なる意識情勢につながると考えます。
避難退域時検査・簡易除染訓練	救護所は屋内が好ましいと感じた
避難退域時検査・簡易除染訓練	避難退域時検査の候補地で同様の訓練を繰り返し行う必要を感じた
避難退域時検査・簡易除染訓練	本部運営者と各現場（責任者）の情報共有が必要と感じた
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両の動きで一部動線が不明確な部分があったため、入口や各導線に案内標識があるとわかり易いと思います
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両検査中にワイパーを停止しない運転手もあり、検査者の怪我に繋がる恐れがあるため、活動手順に注意書き等を加える必要があると感じた。
避難退域時検査・簡易除染訓練	検査員役の方からは、放射線測定やヨウ素剤の配布などの際、丁寧な説明がなされており、わかり易いと感じた
避難退域時検査・簡易除染訓練	ヨウ素剤の配布時に、飲み方、服用のタイミングなど丁寧な説明があればよいと感じた
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両簡易除染後、線量測定に向かった代表者と運転手（車両）がなかなか会えなかった。運転者、代表者のそれぞれにどこで会えるか伝えることが望ましい。
避難退域時検査・簡易除染訓練	除染時（車両及び人）の動線については、再度検討が必要と考えます。また、実際を考えると駐車場のスペースも課題と考えます。（交通整理も考え）

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両簡易除染後、代表者を待つ際、汚染のなくなった車両も汚染の残った車両も同じ場所に待機するように見えたが、汚染車両は速やかに保管場所へ移動した方がよいのでは。汚染（タイヤ接地面、洗浄・汚染水など）を拡大しないように。
避難退域時検査・簡易除染訓練	住民の確認検査にて基準値以上が確認された場合、住民自らが除染を行う手順となっている。今回避難住民役に高齢者の方がいなかったものの、高齢者の方が自ら除染をする場合、汚染箇所によっては時間を要し、また、渋滞する可能性があるため、必要に応じて検査員が助勢をする手順にしてはどうでしょうか。（今回、手や顔面の汚染については住民役の方に対応していただいたが、靴の裏については除染する姿勢が辛そうだったことから検査員にて対応を実施しました。）
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両から代表者を住民避難箇所検査エリアに誘導する際、（屋内にいる時間が長かった）汚染の可能性の高い人を代表者とするような声がけをした方がよいのでは。
避難退域時検査・簡易除染訓練	指定箇所検査に来た避難住民の代表者に基準値以上の汚染が確認された場合、同乗者も検査を受ける必要があり、無線にて検査場所に来るように指示する手順となっています。その後、会場に来た避難住民が混在し代表なのか、同乗者なのか、わからず無線の連絡が錯綜してしまいました。（住民検査票に代表者、同乗者を記載する欄を追加することで解決すると思われれます。）
避難退域時検査・簡易除染訓練	同乗者のうち代表者をサーベイする事になり、1名がサーベイに行き、残り3名が車中待機となったが代表者がなかなか帰ってこなかった。どの程度の待機になるのかを知らせてもらえばよい。もしくは、一緒の行動にすべきだと感じる。また、待機が長くなることは、トイレの必要を感じる。
避難退域時検査・簡易除染訓練	実際に考えると、避難者車両及びバスの駐車スペースの確保が必要。（来賓の車は、主要な場所以外に駐車スペースを確保すべきと考える。）
避難退域時検査・簡易除染訓練	避難してから各検査や車両所染処理するまでの一連の流れについて確認することが出来た。
避難退域時検査・簡易除染訓練	自衛隊が実施する車両除染処理が本格的であったため、緊張のある訓練でした。
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両汚染エリアから住民指定箇所検査エリアへの誘導が無く、導線がわかりづらいため、案内板の設置等が必要と感じた。
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両除染の自衛隊の方の誘導は非常に丁寧で車両が接近するまで誘導していただいた。避難住民車両が多くなった場合、出来るだけ早く早く通過して貰えるようにした方がよいと感じたので、多少、車の位置がずれていても、スピード感優先にして頂きたい。

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>住民役に配られる書類が多く、どれをどこで提出したらいいか迷っている様子でした。フォーマットの目立つところに「●●の係員に提出してください」や「車の見える位置に置いてください」などの指示を書いておくと、スムーズに対応が進むのではないのでしょうか。住民が次に何をしたら良いかわかるように案内表示に工夫してはどうか。事業者さんかの避難者役には、どこから（自治体、住所）の避難者かの状況付与があった方が良い。本当の避難民は通過済証を受領し、避難所（体育館）に入った後で、今後どうなるかの情報がないと不安に感じると思う。その情報提供や今後の行動について「説明」や「掲示」をして頂きたかった。体育館ホールで災害伝言ダイヤルや避難時の説明があったが、事業者の避難住民役については住民用説明を省略しても良いと思われる。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>・誘導員もしくは連絡員の追加 車両を検査し住民指定箇所検査が必要になった場合、現地から検査場所への誘導員もしくは連絡員が必要。また、指定箇所検査では入口に誘導員が必要。検査が必要になった住民がいきなり入ってきて驚いた。また、検査結果で乗員全員の検査が必要となった場合の連絡は住民が自ら行うことも本部及び検査員がわかっていなかったため、混乱が起きてしまった。（反省会でも話が出ていた）</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>・本部員の体制 無線を受信するのも専任の係が必要。責任者が無線係は現実的ではない。また、私は住民チーム総括の立場だったが、住民対応をしていた職員との連絡手段が全くなかった。いざという時の連絡手段が必要だった。役場で準備が必要ならばきちんと設定して欲しい。次の訓練では、本部員の動きも取り入れた方が良い。本部員に関しては今回は何の訓練にもならなかった。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>・簡易検査後の住民説明 弘大の先生話していたが、検査後に除染しても高い値の場合など次の処置が必要な場合の体制を検討した方が良い。個人的に驚いたのは「拭き取りしても落ちない汚染は周囲にも移らないから問題ない。」という考え方。問題ないといわれても食事など絶対したくないという住民は出ると思う。十分な説明体制と、希望者に対してしっかりした除染をする医療機関を周知するなど体制を確立する必要がある。 車両検査を主眼とした訓練だとは思いますが、本部の動きについてもかなり訓練が必要だと感じた。効率的な本部運営の検討もお願いしたい。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>・責任区分の明確化（連携の強化）のため、図上予行（自衛隊ではMMという事前の図上予行を作戦前に実施）を実施した方が、より実践的であり、且つ、問題点が明確になるためより良い共同訓練ができると思料</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>車両簡易除染実施後の汚染水の取扱（陸上自衛隊から自治体へ引き渡す要領を実動で実施）</p>

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・住民検査票の受付欄を誰が記載するか明確にする必要があると感じました。(汚染した住民が記載すると紙とペンが汚染される) ・検査員が記載するとして、氏名の漢字を聞き取るのは困難なので仮名記入で良いと感じました。 ・住所確認の目的を明確にする必要があると感じました。(汚染エリア判定が目的なら被災時にいた場所、本人確認が目的なら住民票の住所を記載すべき) ・避難所の動線が実態に即してない箇所が散見されました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・肌寒い中、訓練企画サイドが圧倒的に少ない中で無事達成できたのは非常に喜ばしいことだと思います。 ・手順書の提出は早めに(少なくとも1週間前)していただけると助かります。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・大間周辺は道路網が脆弱であることから、今後、避難道路の整備が進めばよいと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>避難住民が増えると、住民の動線や必要な誘導、対応人員の必要人数・配置などに大きな差が出ると考えられます。そのような状況でも対応可能であるか、現実的な避難住民の数を想定し考慮した訓練が必要ではないかと感じました。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>具体的な意見、要望等はありませんが、様々なケースを想定し、多様な主体が参加し、継続した訓練が必要と考えます。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>今回の訓練では携行物品の汚染検査を実施しませんでした。今後、取り入れてはどうでしょうか。また、携行物品の汚染検査を取り入れる場合、汚染検査が必要な物品と車両に残してよい物品を整理するとともに携行物品の汚染検査をどこまで実施するのか(例：筆箱の場合筆箱表面だけなのか、ペン1本ずつ検査するか等)を検討しておく必要があると思われます。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>休日の朝からの訓練実施であり、訓練としてはやり易い日時設定でしたが、もっと条件の悪い時間帯に訓練を実施すると準備が必要な資機材等が割り出せると思います。例えば、早朝、夜間、厳冬期等です。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>実際に避難する人数規模を考慮して訓練時の動線を考えた方が良いと感じました。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>コントローラーとして参加し、車両避難を2回実施しました。与えられた状況付与カードの組み合わせによるかもしれませんが、2回目が終わった後、全ての車両避難が終了するまでの待機時間が長いと感じました。訓練実施日は平日が良いと思います。</p>

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	車両の台数、想定する除染箇所については、シナリオを詳細に設定して頂きたいとともに事前に周知して頂きたいと思いましたが、緊急事態の場合は当然シナリオ通りにいかないと思いますが、訓練は手順を確実に実施、習熟し、見直し箇所も見つけていくことで、万が一の緊急事態において混乱がよりすくなく対応できるようになると考えます。
避難退域時検査・簡易除染訓練	訓練の段取りやシナリオは、可能な限り早めに共有して貰えるとありがたいです。なお、避難者役はコントローラーとはせず、汚染有無などの状況をブラインドにする等、より実際に近い形の訓練も必要ではないかと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	人・車両の両方について、汚染の有無で動線（移動経路）を分けた方が良い（汚染有の人・車両の移動経路上を汚染無の人・車両も重複して移動すると、汚染の拡大につながることから）と思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	平日に訓練を実施頂けるとありがたいです。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・今回初めて参加しましたが、必要な資機材が不足している印象を受けており、現状では、万が一の有事の際、対応できないのではないかと懸念を抱きました。今後はシナリオ検討などの事前準備も含め、今回終了後に挙がった課題を少しでも早く克服していく必要があると感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・県の防災担当者のみで行う訓練（事業者はシナリオ想定、資機材使用のみ助勢）を複数の事象を想定し、実施してみた方が課題の洗い出しに有効ではないかと思っています。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・避難人数が多い場合の対応も確認しておいた方が良いと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	川内では車両保管統括と車両除染統括が配置されていませんでしたが、訓練が始まったら、車両保管統括に避難者を誘導するよう指示が届きました。このように、計画、手順に矛盾点が複数箇所見られたが、手順が示されたのが9日（金）だったのでエラーを発見・指摘することができませんでした。訓練の1週間くらい前には手順書案を提示していただければと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	事前に明確にしておくべきこと（5W1H）のうち、「どのようにするか（How）」について曖昧な点があったと感じました。例年参加している／原子力関係者なら知っているということでも、災害発生時の対応要員が全てそのような人員とは限らないので誰が対応しても均一なクオリティとなる準備がなされることが重要なのではないかと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	アで回答した準備が周到になされたうえで、突発対応事項がブラインドで用意され、より実態に即した訓練を指向するのが良いのではと感じました。

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・強風でゲートモニタが転倒しそうになっていたので転倒防止措置が必要だと思います。 ・2基設置したゲートモニタの間を通過しようとする車両があったので進入禁止表示が必要だと思います。 ・ゲート間に敷設するケーブルのケーブルプロテクタが2つしかなく、踏み外しそうになる車両もあったので、3つ連結して使用すべきだと思います。 ・放射線防護装備を着用すると腕時計が確認出来ないので、作業時間等を確認するための時計があったほうが良いと思います。 ・実戦を考慮すると車窓を開けてのコミュニケーションは汚染拡大の原因となる可能性があるため改善の検討が必要だと思います ・訓練エリアの近傍にトイレが無い／有っても使用出来ない場合は、仮設トイレの設置も考慮すべきだと思います。 ・車両の汚染検査と除染場所が離れている場合はその間を移動中に汚染を拡大させる可能性があるため、極力同じ場所に設置すべきだと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時は陸路による物資や人員の輸送が期待できないので、空輸手段の整備（着陸場所の確保含め）を進めておくべきだと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・下北地域は交通網が脆弱なので、空路及び海路での避難訓練を実施し、実際にどの程度の住民が輸送出来るのか確認が必要と考えます。 ・下北地域の避難道路として既存道路の活用しようとする向きがあるようだが、海沿い道路の津波警報や山間道路の土砂崩れによる通行止めを考慮すると「避難道」としては非現実的（機能しない）かもしれません。これらの影響を受けない新設の道路又は既存道路の改良が必要ではないかと感じました。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>風が強い時に、ゲートモニタが倒れることが何回もあり、車両が通る度にゲートモニタが倒れないようにおさえなければいけなかったため、重りに乗せる等の対策が必要だと思いました。ゲートモニタ、サーベイエリアを区切るテープも風の影響で何回もとれ、その度に直していたのでそこも対策してほしいと思いました</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査会場の設営時間が少ないと思います。もしくはもっと簡単に設営できるよう工夫する必要があると思います。 <p>例：屋内を使用すると養生に時間がかかってしまうため、ワンタッチ式テントを外に設置して使用すれば養生等はせずに済む。 使用後はそのまま廃棄できる。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・全体訓練を実施する前に、各役割の個別訓練を実施することが大事だと思います。今回は、屋内を検査会場にしたため養生を行ったが、壁養生後に床養生との接地場所を隙間ができないようテープ固定しなければいけないができていなかった。養生を実施する上で隙間をなくすことは基本だが、認識できていない人もいることから必要だと感じた。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者が迷わないような仕組みをもう少し考えなければならぬと思いました。

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	緊張感が足りないと感じました。事前準備の時間も当日の1,2時間程度で一気によった感じになっています。事前の説明会からはじまり、各班の役割、事前の段取りなど参加者一人一人が納得すべく準備を進め、意識を高めていくことが必要かもしれません。また、各班に評価観察者をつけ、訓練後、フィードバックをかけてやるなどするとよいと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・始めて参加しましたが、避難退域時検査実施手順が当日の朝に配られたため、事前に確認できる時間を設けてほしい。(当日準備時間不足)
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・指定及び確認検査を行う検査班のとりまとめ(検査チーム長?)からの明確な指示なかったようなので、場所の養生、検査機器の養生など、どうするのか皆で相談して進めていました。あらかじめ、リーダーからやることを指示していかないとスムーズに進まないです。場合によっては、事業者等にリーダーを指名してもよいと思います。 ・参加した側として、同じ会社の面子はわかりますが、他の人はどこの誰だがよくわからないまま作業を進めていたので、対応班ごとに集まり、班ごとに顔合わせして準備、訓練対応と進めていくとスムーズに進むと思います。また、手順書に記載されている班、役職も誰がそうなのかよくわかりませんでした。役名付き名札などあったほうがよいと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・3名一組で検査ということで、1名記録係、2名がかりで避難者の前と後から同時サーベイしようと思いましたが、避難者が多いということで、2名が分かれサーベイ2班体制となったものの記録係は1名であり、記録作成が遅れ、結果、避難者を待たせることになっています。検査員の数はもう少し増やした方がよいと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・検査記録シートは、全て記入式であるため、記載に時間がかかります。きまった事項は選択式(例:汚染あり・汚染なし、いずれかに「○」とか)として記入を簡素化していかないと、同じ文字を何回も記入することになるため、工夫してほしいです。サーベイメータの形式とか、管理番号は必要なしでよいかもしれません。 ・検査記録シートで、時間を記入する欄がありましたが、検査員は汚染防護服を着ているため腕時計が見れず、会場にも時計がないため、正確な時間が記入できませんでした。検査会場に時計を配備してほしいです。 ・検査記録シートで、名前と生年月日、年齢を記入する必要があり、避難者に聞きましたが、あからさまに「なんでいわなきゃいけないの」みたいな顔で睨まれましたので、訓練参加者には事前に聞かれることを周知してほしいか、もしくは偽名、偽年齢などをあらかじめ準備してしゃべるよう促してほしい。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・避難者がどこに進むのか迷っていたので、検査会場の入口と指定検査後の会場内の動線(汚染なし者と汚染あり者の動き)を導く担当者が必要だと思います。(2名)
避難退域時検査・簡易除染訓練	・指定検査場所が途中で変更することになったので、指定検査する場所や確認検査する場所に、表示をしておくとう迷わないので、表示を設置した方がよいと思います。

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練が時間どおりに始まったのかもわからなかったので、情報を流してほしい。(いつの間にか知事がきておりびっくりしました。) ・今回の訓練の対応結果がよかったのか、改善すべき点があったのか、来年以降のためにも最終結果は周知してほしいです。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難退域時検査実施手順(訓練暫定版)が当日配布されましたが、当日の読み合わせをする時間を作って欲しいです。 ・住民検査票で、氏名、生年月日、年齢を記載する必要があり、記入担当者が避難者に聞いていましたが、女性の方で氏名を言わず、イニシャルで答える方がいて、その方は実名と実年齢を聞いてくる記入担当者を睨み付けていました。後に、避難者に配られている紙には、仮名、仮年齢が設定されていることが分かり、女性の気持ちも分かりましたが。そのようなことも含め事前に伝えて頂きたいと感じました。 ・設営準備に時間が掛かった理由として、養生シートの出来上がり後の図面があるだけで、手順等の記載はなく、自分達で考えながら準備を進めて行く形であったため。準備の指示者がいればもっとスムーズに進んだと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>訓練全体を通して、緊張感がなく、やっつけ感のある訓練であったと感じました。具体的事由は以下のとおり。</p> <p>① チーム間での情報共有がないこと。 対策例：各チームにリーダーを置き、各リーダーには、連絡用の無線を持たせることで、各チームリーダー同士の連絡手段及び他チームリーダーへの情報提供にもなる。(現場状況の情報提供、迷子が避難退域時検査チームに来た時に車両チームに確認する等)</p> <p>② チーム内での手順の読み合わせ時間がなかったこと。 対策例：読み合わせ時間を考慮したスケジュールを組む。</p> <p>③ 本部から各グループへ情報提供がなかったこと。 対策例：放送等により訓練開始と訓練終了のアナウンスをする。(訓練者全員の緊張感も増します。)</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	対応手順の習熟が必要。
避難退域時検査・簡易除染訓練	・対応が長期化した場合の想定も必要。
避難退域時検査・簡易除染訓練	サイトと連携した訓練
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難会場が広いことは結構であるが、動線を熟考しては如何でしょうか？現状では、避難場所への入口のエントランスが狭いこと、一方向からの避難者を想定されているが、実際は、そのようにならない。グラウンドを有効に活用すべきかと考えます。
避難退域時検査・簡易除染訓練	今回の訓練は、資機材のセッティング等予め準備した上の訓練でありましたが、実際に発災を想定し、そこからスタートとする訓練が必要では？ないかと考えます。

課題	記載内容
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の線量・ダスト測定を実施していたか不明。 <p>気象は常時変動するため、状況によっては住民の方々には車から下ろせなくなったりするのではないかと？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚染有り・汚染なしの境界を交わらないようにした方がよい。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>車両除染のあとの住民検査について、車内同乗者と別れて代表者が検査に行ったあとに、足取りがわからなくなったり、同乗者が待たされたりした。代表者が乗っている車のナンバーを明確にし、代表者サーベイ後、車ナンバーを見て同乗者へ代表者の汚染有無を伝える。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練のための訓練になっている。 ・その影響か、行動そのものにスピード感が欠けていた。 ・検査や除染対象がどのくらいあって、どの程度時間をかけることが出来るのか意識して訓練しないと意味がないと思われる。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の提示はあったものの、実際に動いてみると、次どこに行けばよいのか解りにくかったです。 ・地域住民のことを考えれば会場、実施日、時間はやむを得ないのかと思います。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>参加のしやすさの観点から、今後も休日の実施が望ましい。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>避難住人として、車椅子の方や、寝たきりの方がいることを想定する必要もあるのではと感じました。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>健康福祉部と危機管理局のアンケートを一本化してほしい。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者への配布が訓練直前であり、参加者への事前の周知ができなかった。もう少し余裕をもって配付していただきたい。 ・今後、訓練時間（準備から後片付けまで）を長くする計画がある場合は、休憩時間、交替要員を考慮し、訓練計画を立てて頂きたい。（今回の訓練では、実労時間がギリギリ6時間以内であったが、6時間を超える場合は、労基法等に基づき休憩をとる必要がある。） ・訓練後のアンケートに関して、原対課殿の他、医療薬勤課殿からも同様の依頼があったが、県として取り纏め部署からの1回のアンケートとして頂きたい。
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>天気が悪く、非常に寒かったので、実施時期をずらしていただけると助かります。</p>
避難退域時検査・簡易除染訓練	<p>市町村等関係機関との連絡調整に時間を要してしまい、訓練の準備を十分に行うことができなかった。</p>

課題	記載内容
傷病者搬送・受入訓練	今回初めてトリアージの様子が見られて大変勉強になった。医師などの防護服がテープで色分けされており、わかりやすかった
傷病者搬送・受入訓練	多数のトリアージを行う訓練であり、大変意義深いものと感じた。
傷病者搬送・受入訓練	今回と同様の訓練を繰り返し実施することがよいと思う。主目的の一つである、管理区域の解除の訓練については少し時間が足りなかった。
傷病者搬送・受入訓練	消防本部は、統制がしっかりしており、連携がとり易かった
傷病者搬送・受入訓練	管理区域への救助隊の入域について、防護服装着など特段の問題もなく実施することができた
傷病者搬送・受入訓練	傷病者搬送訓練に参加したが、住民とは接する機会がなかったため、指摘事項や要望はなかった。
緊急時モニタリング訓練	緊急モニタリングについての企画調整を実施したが、問題なく進んだと考える。
避難所開設・運営訓練	各々の役割や全体の流れの説明がなくてどのように動けばよいのかわからなかった。訓練前に説明が欲しかった。
避難所開設・運営訓練	状況付与カードについては本訓練に大変有効であると感じました。一方、住民役の方に使い方などが周知徹底されていなかったのもので事前説明があるとよいと思います。
避難所開設・運営訓練	避難者役でしたが、個人設定（汚染状況など記載したメモ）について、「記載事項以外は、個人の状況を回答のこと」と記載いただきたい。もしくは、すべて設定するかのどちらか。
避難所開設・運営訓練	避難者カードの中に情報の開示・非開示を選択する欄があることに驚いた。非常事態においても個人情報保護が優先されると安否確認に支障が出るのではと不安に感じた。
避難所開設・運営訓練	避難者に対する物資の配給や避難所の清掃などの運営訓練が無かったので、避難所の機能を検証する訓練も必要であると感じた。
避難所開設・運営訓練	防災士の方の説明で、無いもの（トイレ、三角巾、敷き布団 等）をほしがるのではなく、有るもの（穴を掘る、レジ袋、ダンボール等）で代用するというのがあった。その発想に共感出来た。
避難所開設・運営訓練	汚染車両における除染の流れを把握することが出来た。

課題	記載内容
避難所開設・運営訓練	避難所での居住スペースの割り当てや、簡易ベッドの作成など、基本的な知識を得ることができた。
避難所開設・運営訓練	弘前市の現状と当町の対応をすり合わせていく必要があると感じた。訓練実施日について、平日開催でも良かったのではないかと思います。
避難所開設・運営訓練	避難先（弘前市）と実際に連携をとりながらの住民避難訓練
避難所開設・運営訓練	避難所開設・運営訓練について、以前講義を受けて行政側としての判断力が非常に重要であることを感じました。そういった訓練や講義を定期的に行ってほしい。
避難所開設・運営訓練	訓練想定や会場の設定について、実災害の則っており非常に良いと感じました。訓練時間についても、妥当であると感じました。訓練実施日については、日曜日開催の訓練であったため、当市職員の参加調整に若干苦勞しました。
避難所開設・運営訓練	昨年度に引き続き、2年連続で当市を会場に避難所開設・運営訓練を実施していただいたので、来年度、同様に避難所開設・運営訓練を実施される場合は、他の受入市町村を会場にしても良いと思います。
避難所開設・運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は自衛隊と除染を通じて連携し、非常に勉強になった。 ・病院や施設等との連携も気になった。 ・退去時の訓練も実施しておきたい。
避難所開設・運営訓練	弘前市と横浜町の職員が受付を担当しましたが、避難者役の人から「人工透析が必要な人がいる」「車いすはどこか」「体調が悪い」「ペットはどうすればよいか」などの申出が複数あり、事前情報がない状態で訓練できたことがリアルで良かった。
避難所開設・運営訓練	除染済の証明書がない人たちも実際には避難してくると思うが、興奮状態の避難者の場合、除染していない人か、単に証明書を紛失した人かの判別が受付担当では難しい。放射能が付着しているか、判別できる機器等があれば、避難所地域の安心感も増すと思います。
避難所開設・運営訓練	年に何回か実施したほうが良いと思う
避難所開設・運営訓練	原子力訓練というものをもっと大々的に行うようにしたほうが良いと思う
避難所開設・運営訓練	原子力の知識をみんなでもっと勉強したほうが良いと思います

課題	記載内容
避難所開設・運営訓練	<p>初めて原子力訓練に参加したため、発災から避難に至るまでの大まかな全体の流れを掴む意味では非常に勉強になった。</p> <p>原子力災害の場合、避難者が避難所に入るまでにいくつかの検査を受けるものと考えていたが、東通村を出るときに検査をしてくるため、弘前市の避難所への入所は基本的に他の災害と同じような流れで避難者側にとっては入所までのプロセスを理解しやすいと感じる。避難所開設運営訓練については、受付までの流れは問題ないと思うが、受付後の流れについては最初から防災マイスターの方からの指示を受けて動くのではなく、完成品のサンプルを用意して同じものを各グループで作らせるような自主性の高いやり方でも良かったかもしれない。</p> <p>また、自衛隊の除染作業がどういったものなのか興味を持っていたため、訓練のスケジュールの都合でそれを参観できなかったのが残念であった。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>実際に発災した場合に受入市の職員を招集して受付用紙の使い方や避難所運営方法について説明会を行う余裕がないことが考えられるが、県ではどういった対応をするのか知りたい。また、発災から避難所運営に至るまでに受入市側の職員の動きのフローのようなものや説明資料があると訓練内容についてもより理解が深まると感じた。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>想定されていた質問に対する回答の内容や回答例などを訓練後に教えていただくと、より効果的に対応力が養われると思いました。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>避難者役としての参加であったが、原子力災害が発生した時にどのように避難することとなるのかイメージすることができてよかった。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>連絡ルールの徹底が必要訓練終了の連絡はすべての訓練担当からあったが、訓練開始の連絡はすべての訓練担当からはなかった。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>避難住民役で参加したが、当日避難者カードの内容に、自由記載で構わない、との指示があった。結果として、避難所を運営する職員の手を煩わせることなく、淡々と避難者の受入がされた。むしろ何も記載しないで臨んだ方がよかったと感じた。設定付与に対する職員の反応が薄いと感じた。</p>
避難所開設・運営訓練	<p>今回、青森県立武道館で避難所開設・運営訓練に参加いたしましたが、同様の訓練を複数回実施し、また自治体を変えて同様の訓練を実施すればいいのではないかと思います。</p> <p>今回参加いただいた方々からは、訓練終了後の振り返りにおいて、今後の課題や提案、要望等の意見が出されました。</p> <p>よって、想定は変えずとも、同様の訓練を複数実施することで、自ずと実施したことがマニュアル等となり、回数をこなすことで、より実質的なマニュアル等の完成が望めるものと思います。（訓練の都度、前回の振り返りを反映させることから、マニュアル等の自動修正が図られる。）</p> <p>また、その後は、上記訓練と同様の訓練を別の自治体において実施することで、各自治体における避難所の開設・運営に関する知識の習得や経験等となり、ひいては、各自治体のマニュアル等の策定につながるものと考えます。ちなみに、運営側は、同様の訓練を実施すること、また進行管理のみの業務となることから、それほどの業務量増加とはならないものと思います。</p> <p>（局内の他課職員も参加すれば、自ずと、避難所開設等の実務研修となる。）</p>

課題	記載内容
映像伝送訓練	映像伝送訓練における撮影場所については度々変更となったが、その都度連絡を頂いたことで訓練当日に臨む準備が確実に実施出来た。（映像伝送箇所の電波品質等の事前確認等）訓練さながらの的確な情報伝達であったことに感謝を申し上げます。
映像伝送訓練	現地対応の映像伝達において、現地の訓練が終了した旨の指示を県のご担当者より受け、当社担当者が映像を切断したところ、実はオフサイトセンターでは知事がまだ視察されているタイミングでした。急遽、電話連絡を当社担当者へ取り、再接続を行いました。訓練時の情報連絡を取っていただけると幸いです。
災害対策本部運営訓練（横浜町）	想定に基づいて、役場職員の行動訓練を行った方がよい
災害対策本部運営訓練（横浜町）	原子力事故が発生したらどういう行動をとるのかを研修し、役場職員の共通認識が必要であると思う。
災害対策本部運営訓練（横浜町）	今回の訓練内容を何度も行い体で覚えさせた方がよいと思います。訓練を行っても覚えていなければ意味がないため、飽きるくらいやって確実な対応を身につけなければならないと思います
災害対策本部運営訓練（横浜町）	原子力防災は初めて参加したので、発生した際に何をしなければならないのかを少しでも把握出来たので良かった
災害対策本部運営訓練（横浜町）	観光客などの外国人対応（説明に必要な文書）。放射線防護服についての説明
災害対策本部運営訓練（横浜町）	児童の引き渡しについて教育課主体ですすめてもらいたいです
災害対策本部運営訓練（横浜町）	初動について夜間や休日等人員が揃っていない状態を想定した訓練
災害対策本部運営訓練（横浜町）	決められたシナリオだけでなく、訓練概要に基づき各自で考えて行動するような事も多少はあってもいいのではないか
その他	道路寸断時の物資輸送対応検討が参考になった。
その他	住民に対して、原子力防災全般の周知をもっと図るべき。実際に町民に対しての講習会をやっておくと、今後の対応も町民自身で考えることにつながると思う。
その他	原子力災害発生初期の住民の動きのシュミュレーションを検討して欲しい。どの程度の住民が指示に従うか、どの程度の混乱や交通事故が発生するのか、統計や集団心理などの観点から、災害直後の様子を知りたい。

課題	記載内容
その他	実際に災害が発生したときは、職員各位がどのような役割を担うことになるか判らない。同時に、対象となる地域住民もどう行動していいかわからず、混乱することが予想される。職員の役割については、常日頃からの啓発と訓練からイメージすることが必要であるし、地域住民へは高齢者にも配慮し、よりシンプルな行動指針を示していく必要があるのではないかと考える。
その他	・事前準備せずに（事務業務以外）避難所開設や必要物品搬入に要する時間が実際にはどのくらいかかるのか確認する必要があると思う。それを受けて、今後の行動の目安になると思うので。
その他	・原子力災害時においては、村職員（対策要員）は一時集合場所、避難誘導、車両巡回広報などの現場で活動する事となるため、村本部と現場配置職員間の情報共有を行うためのツール（現場においても相互の情報交換が一斉に可能な通信手段など）の整備が必要である。
その他（防災知識の普及）	安定ヨウ素剤の配布やサーベイメーターの使用方法について、専門家を呼んでの講義を行ってほしい。
その他（防災知識の普及）	今回の訓練を通じて、原子力災害時における自治体職員が担う役割というものが大変重要であると感じた。今後も各訓練に参加し、知識、技術の習得に努めたい。
その他（研修等）	職員は、原子力発電や原子力防災についての研修に何度か参加して知識を得られるが、一般住民の原子力災害の知識や意識（避難するときにはどうすればよいか等）が不足しているように思うので、わかりやすく説明して貰える機会があれば良いのではないかと思います。
その他（研修等）	地域住民による避難所運営会議などの訓練を積極的に実施するべき。
その他（資機材整備）	文献や講義等を利用して、事前に原子力に関する知識を深めるべきであったと考えます。

※ 整理上、類似意見の集約及び同一回答者から寄せられた意見であっても課題の区分に基づき分類をおこなっている（個人でなく、組織で意見を取りまとめ提出している場合も1つとして計上している）。